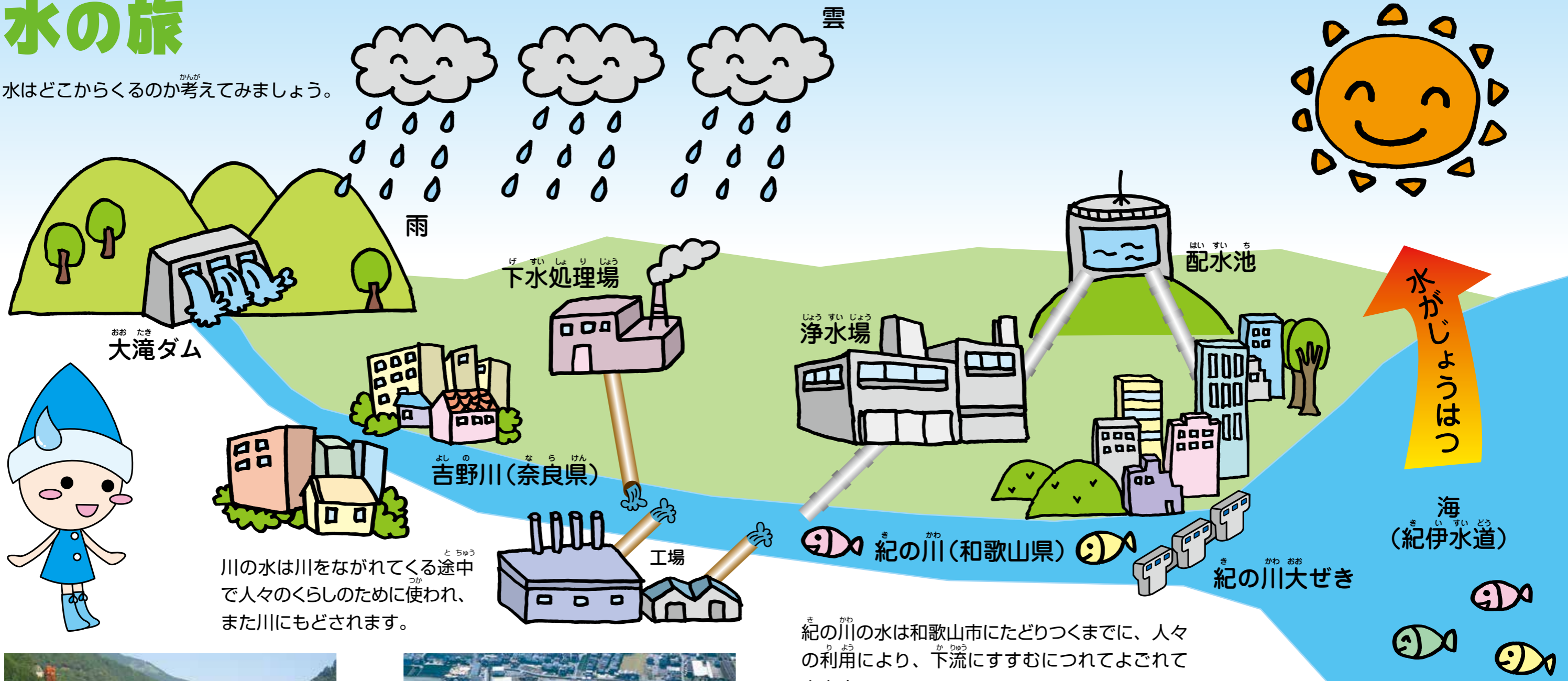


水の旅

水はどこからくるのか考えてみましょう。



川の水は川をながれてくる途中で人々のくらしのために使われ、また川にもどされます。

紀の川の水は和歌山市にたどりつくまでに、人々の利用により、下流にすすむにつれてよごれてきます。



大滝ダム

山にふった雨が小さな川にながれ、ダムにたまり、やがて大きな川にながれます。



加納浄水場

和歌山市に水がとどいてから浄水場に水を取りこみ人々のくらしに使うための水をつくります。



紀の川大ぜき

水がいを防ぐため、河口に大ぜきがつくられています。

●先生方へ● 大滝ダムの有効貯水量は76,000,000m³で、その内和歌山市の上水道用に133,000m³/日、工業用水道用に44,000m³/日を使うために建設され、平成25年3月31日に完成し、平成25年4月1日より運用が開始されています。

マメ知識

和歌山市の水道水は紀の川の水を水源にしています。紀の川の長さは約130kmにもなります。川のはじまりは奈良県にある大台ヶ原山です。